

商 况

販賣旬報 第 136 號 昭和 5 年 8 月 11 日

製鐵所販賣部

黒薄板共販組合成立す 官民五社の提携 薄板界現下の不況対策として共販組合を形成するの必要は最近數ヶ月間熱心に提唱せられ民間各社の要望に従つて屢々會合を開いて相互意見の接近を計り漸次組合形成の氣運に向ひつゝあつたが、去る 8 月 5 日製鐵所に官民合同の會議を開き、各自忌憚なき意見の開陳を試みたる所満場悉く同意見にて急轉直下而も和氣霽々裡に薄板組合を組織することを約し其大綱も略々決定して我國に於ける官民共販組合の先驅者を誇ることゝなつた。

其大綱は大要次の如くで来る 14 日大阪に開催さるべき理事會に於て正式決定をなす運びである。

1. 次の 1 所、4 社を以て黒薄板共販組合を組織す。製鐵所、川崎造船所製鉄工場、徳山鐵板株式會社、日本鋼業株式會社、中山薄鐵板工場、

1. 組合の目的 本組合は米ゲージ 30 番半 (B.W.G. 30 番) 3 呎×6 呎平板原板及米ゲージ 30 番半 (B.W.G. 30 番) 浪板原板の内地及海外に對する共同販賣を爲し生産並に價額の合理的調節を計るを以て目的とす。

1. 本組合は如何なる註文と雖も組合を經由せずして之を受付け又は契約することを得ず

1. 各組合員の生産割當月額は次の如し

川崎 9,000 噸、八幡 2,000 噸、中山 1,600 噸、徳山 700 噸、日鋼 300 噸、計 13,600 噸以上生産額にして内地需要を満して餘りあるときは其の悉くを輸出に振り向けるものとす而して本組合の特徴の最たるものとして擧げ得べきは

1 は現在に於ける我國薄板メーカーの悉くを網羅し其處には一のアウトサイダーも存在しないことである。

2 は總ての細目を理事會に譲つて只其の大綱をつかみ機に臨み變に應じて適宜の處置をとらんとする實際的機能である。

3 は製鐵所が組合員の一員として参加してゐること、殊に川崎を除く他の三社は其の原料たるシートバーを製鐵所より供給せられてゐる點である。

而も其の成立の和氣霽々たる必ずや圓滿なる統制を試みて薄板界の安定に資する效大なるものがあるであらう。

同組合は生産量の最大を擁する川崎を中心として組合業務の萬端は川崎之に當ることになつてゐる。而して其の存續は 3 ケ月の暫定的なるものとしてあるが誠實を中核とする組合に或は其の誠實を疑はしむるものがあつては到底永續さるべきものでないとの疑懼の爲に試験期を置いたまて、勿論將來に繼續せらるべきものであることは世界各國に於て最も至難とされてゐる薄板組合が先づ最初に成立したのを見ても明であらう。

骸炭副製品規格改正 市場で單にマルエスもの (當所マーク㊟) と云へば通り名になつて居る當所骸炭副製品の内一部は今度規格を多少改正する事になつた。實質を變へるのではないが其の内には内地市場の標準値段をなして居るものが少なく關係方面がかなり廣いから従來の型録記載の規格と變つた品種について取敢ず本旬報によつて發表する事とする。

品名	規 格	品名	規 格	品名	規 格
純ゾ ペー ンル	攝氏 79 度—81 度の 2 度間 にて全部鑄出するものなり 比重 攝氏 15 度に於て 0.880 —0.890	百ゾ %1 ベル ン	攝氏 100 度迄に全部鑄出する ものなり 比重 攝氏 15 度に於て 0.870 —0.886	ソト ルナ ベフ ンサ	初鑄 攝氏 120 度以上 終鑄 攝氏 200 度以下 比重 攝氏 15 度に於て 0.86 —0.92
純オ ト ルル	攝氏 109 度—111 度の 2 度 間に全部鑄出するものなり 比重 攝氏 15 度に於て 0.865 —0.875	モン ゾ ター ル ベ	攝氏 120 度迄に 90% 以上鑄出 終鑄 攝氏 135 度 凝固點 攝氏零下 14 度以下 比重 攝氏 15 度に於て 0.870 —0.880	製メ 鐵ン テ油 レン	初鑄 攝氏 150 度以上 終鑄 攝氏 200 度以下 比重 攝氏 15 度に於て 0.86 —0.92

ヒ 比重 1.20—1.30
 熔融點(水銀法) 攝氏 60 度—70 度
 ツ 遊離炭素(二硫化炭素不溶解分) 20%以下(重量%)
 チ 灰分 0.1%以下(重量%)
 ピッチニューメン 80%以上
 ク 比重 攝氏 38°/15° に於て 1.03 以上
 レ 水分 3.0%以下(重量%)
 オ 分餾試験(脱水試料に於て) 攝氏零度—210 度迄の餾出物 5.0%以下(重量%)
 ソ 攝氏零度—235 度迄の餾出物 25.0%以下(重量%)
 ン 浮遊試験(分餾試験に於て攝氏 355 度以上の殘留物 5%以上なる時のみ此の試験を要す)
 ト 攝氏 70 度に於て 50 秒以下ベンゾール不溶解分(脱水試料に對して) 0.5%以下(重量%)
 油 コーク殘渣(脱水試料に對して) 2.0%以下(重量%)
 良チ 揮發分 5.0%以下
 質コ 固定炭分 94.0%以上
 ビッ 灰分 0.5%以下
 ック 硫黃分(ボンブ法に依る) 0.4%以下

一ゾ
號
クル

二ゾ
號
クル

軟質
舗道
用
タ
ール

分餾試験攝氏 190 度より 210 度迄に全部餾出するものにして内攝氏 195 度—205 度間に容量 90%以上餾出す
 色相 淡黄色乃至褐色
 比重 攝氏 15 度に於て 1.040—1.050
 分餾試験攝氏 205 度—220 度間に餾出するものにして攝氏 215 度以下に容量の 90%以上を餾出す
 色相 淡黄色乃至褐色
 比重 攝氏 15 度に於て 1.025—1.040
 熔融點(キューブ法)攝氏 25 度—37 度
 比重 1.18—1.22
 分餾試験 攝氏零度—200 度迄に餾出するもの 2.0%以下(重量%)
 攝氏零度—300 度迄に餾出するもの 22.0%以下(重量%)
 攝氏零度—360 度迄に餾出するもの 38.0%以下(重量%)
 ナフサリン含有量(分餾試験に於て攝氏 300 度迄の餾出物を攝氏 10 度に冷却し折出すもの) 1.0%以下(重量%)

硬質
舗道
用
タ
ール

タール酸(分餾試験に於て攝氏 360 度迄の餾出物中のタール酸を原試料 100 瓦に對する耗數にて表はせるもの) 3.0 耗以下
 水分 0.5%以下(重量%)
 熔融點(キューブ法)攝氏 38.0 度—50.0 度
 比重 1.20—1.25
 分餾試験 攝氏零度—200 度迄に餾出するもの 1.0%以下(重量%)
 攝氏零度—300 度迄に餾出するもの 13.0%以下(重量%)
 攝氏零度—350 度迄に餾出するもの 28.0%以下(同)
 ナフサリン含有量(分餾試験に於て攝氏 300 度迄の餾出物を攝氏 10 度に冷却し折出すもの) 1.0%以下(重量%)
 タール酸(分餾試験に於て攝氏 360 度迄の餾出物中のタール酸を原試料 100 瓦に對する耗數にて表はせるもの) 3.0 耗以下
 水分 0.5%以下(重量%)

7 月中 3 港輸入概観

(1) 輸入減も愈々本調子となつた。即ち 6 月も 7 月も共に 2 萬噸近所で喰ひ止める事が出来た。内容を見ても各品種共此邊が最小限度の數量と見られる迄減少した、消化力が常態に復したなら現在の内地の生産能力では此輸入減の現象は寧ろ行き過ぎた感があるが今の市況を對照としては、編笠一介も重荷なのである。

(2) 此輸入表(後付)を見て條鋼類と軌條だけは殆んど完全に征伐し盡したと云ふてよからう。

御茶入向や特殊の規格品で條鋼として 1ヶ年 2 萬噸位、特殊の軌條で 7—8,000 噸位はどうしても防ぐ事は出来まい、問題は其以外のものである。

鋼板類の内 0.7 耗超の此數量は熱に浮かされての一時的現象と見るべきで 0.7 耗以下は川崎製鐵を主力としての増産により當然防遏し得るものである、鉄力は東洋製鐵の生産計畫など早く實現されて此數量を減らすべきである。

線材は本年下半期から條鋼の餘力を此方面に振り向けられて神戸製鋼、製鐵所、淺野小倉など合して 3 萬噸近くの増産となるから追々と形を消すことゝならう。

シートパイルも年々増加の傾向で本年も此趨勢を以てすれば恐らく 3 萬噸近くの輸入を見るであろう、此も撲滅すべきものゝ一つである。

鋼管も色々の理屈はあるが未だ々々減少せしむべき餘地は充分残されて、當業者の奮闘を待つて居る。

東西市況—不安 それは一時的現象か、根底あるものかは別問題として、統制に努めた生絲、綿絲等を初めとし一般財界は近來大體に於て良い意味の波瀾含みとなり活氣を呈して來た觀があるが、獨り我鐵鋼界は此等の環境には全然無感覺に、微動を起す力もなく不相變のメーカー安賣の噂と問屋の賣逃げに「一體此先はどうなるでせう」の不安の氣分旺盛し先行に對し何等の曙光も見るに由なく、弱氣一天張りで見られ、見積の出る度に極端な新安値を現出しては市場の驚異的となるが、その驚いた安値が何時の間にか市場の成行に變ると云ふ有様と云はれて居る。

東京方面は荷動きも相當ある様に見えたが、それは近頃大口見積が一寸續いた爲何となくそんな心持がしただけで大部分は直接メーカーへ走る爲實際は問屋の腹は一向空かず、満腹の體と眺められて居る。

東京市況

丸鋼 ベース丸に就ては 7 日發表された關東共販の建値は 76 圓、市場の成行は 68 圓、横濱港灣部の見積は細丸込みの 64 圓 50 錢、猶地場では 65 圓は何とかなるだろうと、斯うなると何だか分らなくなる。

9mm にしてからが當所 6. 7 月渡先物の時、申込の 18,000 噸が實需だと頑張つた者もあるが、今日の此類勢と

どうであるう、結局恣に頭を割られたものである。

角、平鋼 角の 19mm は大阪の品切れに耽りではあるが伸力鈍く其他手持薄ながら荷動き鈍き品とてナリ安状態不攻。平は 2½" 以下不攻、3" 以上も目先安を氣構へられて居る。

型鋼 中型山形は益々急落歩調となり 50mm は前旬に比し 50 錢も下放れた此も大勢上止むを得まいと云はれ目先猶落調を續けるものと見られて居る、大型物一段安。不等邊も等邊に釣られて安値に落ち行く模様であるが ½×4×6 は品薄で耽り、溝形は結局供給過多で「餘り物に値なし」一段と悪化して來ると云はれて居る、工形は 18" 以上の大型物や 3×3 6×16" などが品掠れに高値と呼んで居る外は不味、然し溝形から見れば未だ有望視されて居ると云はれて居る。

鋼板 當所耳付の新安値は 4.5 以上の厚物に響きて、7 圓 50 錢を目標に落ち込んで居ると傳へられて居る、薄物も不相變軟弱を續けて居る模様である。

大阪市況

丸鋼 市場の取引は依然閑散そのものゝやうで賣買共全く無活氣甚だしく我鋼材界の主要品たることを忘却せられたる觀がある。

「底抜けて砂に遊びぬ行水子」

角、平鋼 角 19mm の如き極度に品薄を稱へられて居るが一時の如き伸力は更になく其他は平鋼と共に弗々の商内に過ぎぬが平鋼 19, 22, 25 中のもは割合に動いて居る。

型鋼 山形鋼中型もの前途の不安著敷に加へて賣行不良の爲安賣方針に一致し低落又低落。大型ものにも見込薄く當所製作餘力を怖れられて居る。不等邊又は運命を共にし多からぬ在庫品も賣急がれて居る工形鋼 18", 20" ものは品拂底、其他は不變。花形たらんとして機をねらひしも環境は完全に鼻をくじき不況の道連れをした溝形鋼在庫は型物中一等多くそれ丈け悪化して居る軒並の 75.00 と見られる丈け損失も莫大と見られて居る。

鋼板 1.6, 2.3, 3.2 先物安に一段凄味を加へ來り原價も品薄も問題とならず只管賣の一手に集中せられ、厚板は 75.00 を目標として賣らてゐる。

線材 目下の唱値は 大陸もの 1 英噸金 81 圓 50 錢 當所品及神戸製鋼品 1 噸金 80 圓である。

商況は前旬と大差なきも只最近外註品が多少入荷ありし爲め相場は約 1 圓 50 錢方下落した模様である。要するに斯る商況である以上尙目先としては依然夏枯れの場面を持續するより外なきものとされ何等氣力を認め得ないやうである。

鋳力板 需用の大宗たる罐詰が目下季節の關係によりその原料少き事と製造困難なる理由にて地方より注文は皆無である。従つて市中取引は閑散そのものゝ如く何等買氣を刺戟するに足るものがない。

鐵鋼界日誌

7月25日

常磐會東西聯合協議會、大阪市外甲子園ホテル、8月渡川崎造船所製黑板賣出し次の通り決定す。

1. 賣出數量 G.No.30½—30 各寸法合計 6,000 噸 2. 値段 G.No.30½×3'×6' 噸當 156 圓

8月5日

川崎、徳山、日鋼、中山、製鐵所の薄板共販組合成立のことに決定す。

販賣旬報 第137號 昭和5年8月23日

製鐵所販賣部

11、12月渡先物協議會概況（限月短縮にて發表なし）11、12月渡先物協議會は豫定通り8月15日大阪平和俱樂部に於て開催された。大阪にて景氣の良い話題に上るは野球ばかり、其に引替へ殊更不況を嘲つのは全般鋼材軒並、四社始め三都の間屋 70 餘名集合、緊張裡に蓋は開けたが、三都の足並揃はず、加之其希望値段たるや前表の如く輸入値段を懸隔れて下廻ること甚し、斯の如き現象を呈するの環境の不良と先行に對する極度の不安の念に驅られ居る爲に外ならず、斯る際に於ける3ヶ月先物の思惑買も一考を要するを以て、買手側の希望も參酌し差當り先物期限を2ヶ月に短縮する意味にて次記の通り決定せり、猶黒薄鋼板に就いては9月積の分は共販にて次の如く建値す。

品種\区分	入電冲着	河岸着値段 (爲替%-%)	東京 希望	大阪 希望	懇話 會
丸鋼 ベース	5-16-0	77.15	74	70.74	
〃 徑 9mm	6-0-0	79.09	—	68	
角鋼 50mm以上	5-17-0	77.63	74	70	
〃 50mm以下			72		
平鋼 70mm以上	5-19-6	78.85	71	70	
〃 36mm以下	5-18-0	78.12	74	68	
中小型山形鋼	5-16-0	77.15	74	68.75	
大形山形鋼	5-16-0	77.15	74	70	
工形鋼	6-0-0	79.09	77	73	
溝形鋼(吋寸法)	6-13-6	85.64	83	72	
〃 (耗寸法)	6-3-6	80.79	77	70	
鋼板 6.0mm以上	6-15-0	86.38	78	70	
〃 4.5mm	6-15-0	86.38	78	70.81	
〃 3.2mm	6-15-0	86.38	85	83	
〃 2.3mm	7-0-0	93.81	92	90	
〃 1.6mm	7-2-6	95.02	93	93	
線材	6-17-0	81.00	—	73.78	
鋇力板 170	1-16-7	19.33	19.0	—	
〃 100	0-19-6	10.35	10.0	—	
黒薄鋼板	13-5-0	159.28	—	—	

(1)、11月積は9月に發表し以下之に準ずるものとす。(2)、11月積値段發表に到る迄の間、内部的に定めたる標準値段に據り個々の引合に應ずるものとす。参考までに外注値段と東西希望値段を掲げると別表の通りである。

重軌條及繼目板値段決定 重軌條及繼目板値段は其後海外安の爲自8月20日至9月末日迄の注文のものに對し次記の通り決定された。

20 哩以下の分 96 圓替
超 20 哩の分 95 圓替

7、8月中大陸市況 協定崩壊後の大陸相場はあたかも關を切られた奔流の如く一夜にして大暴落を演じたこと既報の通り

であるが其の後ともめど無く漸落を重ねて、恐らくは前古未曾有の安値を出現し、市場混沌として、一寸先も定かならぬ有様である。一言にして之を評せば世界的不況が組合を崩壊せしめ、組合の崩壊が更に不況を深化せしめたこと云ふことが出来よう。引合は最近可成り増加したと云はれてゐるが商内は依然僅少で、7月下旬の最低安値に棒鋼の註文は相當量に達し賣手は聊か強腰となつて4-11-0と2志値上げし相當商内の成立を見たが翌月はすぐにガタ落の4-9-0、8月中旬には4-7-16と破天荒の安値に陥ち込んだ。

如何に大陸の生産費が安からうが、如何に國內市場尨大にして海外投賣の餘力が豊富であるにしても、無打算な安値たること勿論で、將來長く保ち耐えらるべきものではないが、少くとも目下の處は好轉の兆はおるか將して何處まで下るのか無打算な丈に計り兼ねるとの氣迷ひ氣分濃厚である。

一方半製品及工形鋼に就ては從來の價格協定を維持し傍ら個別的に國際カルテルを形成すべく努力中であつたが幾多の難關を突破し此の度愈々成立の運びとなつて、8月1日より既に新なる活動を開始することになつた。其の組織は從來の一般的國際註文配分事務所と同様買手は註文を組合本部に發することなく各工場割當限度に達するまでは直接に各工場と取引の交渉をなし、たゞ其の限度を越えたる時始めて組合本部の統制に服して、組合本部は註文過剰の工場より他方註文薄の工場に其の超過額を振り向けるものである。存續期間は3ヶ年、但し棒鋼組合を本年末までに作り上げる條件附で、半製品組合長には白耳義コケルル會社のトノー氏就任其の本部をリエージュに置き工形組合は巴里に本部を置いて佛蘭西ド・ヴァレテル氏が

就任することになつた。此等組合は其の成立と同時に組合値段を公表し從來の協定價格より半製品に就ては7志方、工形鋼に就ては5志6片方の値下を斷行して市場に追隨した。

發表値段示表の如し。

		fob Antwarq	
Blooms	140 & up	4/ 0/0	(前値段 4/ 7/0)
〃	120 to 140	4/ 3/0	(〃 4/10/0)
〃	100 to 120	4/ 5/0	(〃 4/12/0)
Billets	2½ to 4 inches	4/ 6/0	(〃 4/13/0)
〃	2 to 2½ inches	4/ 7/0	(〃 4/14/0)
Sheet bars	20 & heavier	4/ 8/0	(〃 4/13/0)
〃	15 average	4/10/0	(〃 4/15/0)
Joist	N. S.	4/16/0	(〃 5/ 1/6)
〃	B. S.	4/18/0	(〃 5/ 3/6)

尙自由市場に復活後のブラツセル取引所相場は明に一段の慘落振りを示してゐる。

	棒鋼	工形 (N.S)	工形 (B.S)	山形 (大型)	鋼板 (3/16")	ピレット 2"
7月2日	4-18-0 (5-7-6)	4-15-0 (5-1-6)	4-18-0 (5-3-6)	(5-7-6)	6-1-0 (6-10-6)	(4-14-0)
7月9日	4-16-0	(5-1-6)	4-18-0 (5-3-6)		5-18-6	(4-14-0)
7月16日	4-12-0	4-11-0 (5-1-6)	4-18-0 (5-3-6)	4-12-0	5-18-0	(4-14-0)

7月23日	4-10-0	4-11-0 (5-1-6)	4-18-0 (5-3-6)	4-10-0	5-16-0	(4-14-0)
8月1日	4-11-0	(4-16-0)	4-18-0 (4-18-0)	4-11-0	5-12-6	(4-7-0)
8月8日	4-9-0	(4-16-0)	4-18-0 (4-18-0)	4-10-0	5-9-0	(4-7-0)
8月15日	4-7-6	(4-16-0)	4-18-0 (4-18-0)	4-8-0	5-7-6	(4-7-0)

括弧内は協定價格其他は成行相場

東西市況デリー安 青息吐息が一層深まつて行く市況である。條鋼と云はず、鋼板と云はず、どれ一つこれぞと思ふものもなく、まして直接製品に影響される線材や黒板は猶更深刻と見られて居る、荷動きとしては7月程動くはないが、未だ未だ値段を動かす程の力は到底望めずと云はれて居る。

大口見積物も此邊で一段落となつた模様で一吋突飛な新安値の噂も途絶えたと傳へられて居る。

東京市況

丸鋼 6mm は品薄に未だ睨りを續けて居るのが異數で、其他は軒並に落調急である。ベース物も底知れず低落の一路を辿り益々不安に驅られて居る。9mm は復々一段と安値に追い込まれて行くが、メーカーは只の一軒で、定期もなく、輸入も全然跡を絶つたのに何が9mm をそう安値にさせるか、如何に血迷ふても其罪の全部を伸鐵に負はせる程まさか勇敢ではあるまい。

角、平鋼 平の4' が手持薄に踏み止まつて居る外は角、平共軟調に推移して居る。

型鐵 中型山形は急落の後の一服気分ではあるが市中には68圓の噂も出未だ到底不安の域を脱することは出来ぬと見られてゐる。大型物は稍品薄を感ぜられて気分は宜いが値段の上に現はれるまでには到らないと傳へられて居る、不等邊も品豊富に頽勢を改めず、溝形鋼も、どれもこれも2、30錢の間を彷徨して居る、鐵の値段も、市況が悪化すると選り取り何圓と平均されるものである、工形鋼は前旬と變りなく部分高を現出して居る。

鋼板 これも何處まで落ち込むか今の處見當付かず不相變デリー食状態を續けて居る。

大阪市況

丸鋼 關東方面の底無沼的商況は必然關西に影響し鐵筋大口商内成立毎に新値を現出して居る。氣配は不味閑散。

角、平鋼 平調に推移し特筆すべきこともなく苦熱に能率減殺されて居るが涼冷を加ふると共に増産され市價は軟弱を辿るものと見られて居る。

型鋼 山形、工形、溝形鋼中型ものは不相變安く大型ものは動かない。鐵骨用としての鋼材は建築業者間に於て極端なる先安を見越して豫算せられ供給の立場にある鐵業者及製造家を呆然たらしめて居る。然も今日迄此方針が成功して居る以上如何ともなし得ない状態に置かれて居る。

鋼板 中板もの厚板共競落止まず買氣は斷然委縮して居る。

線材 需要期一巡し愈々夏枯れ期に入りし際とて實需筋が小口買の他は目立つた買物なく相場の軟勢を辿るは蓋し當然である。目下の呼値は、大陸もの1英噸金79圓、當所品及神戸製鋼品金78圓と今尙落潮を改めず。

鍍力板 市場在庫薄を告げ乍らも周境一般に悪く賣人氣旺盛であるが買手は法外な値を付ける爲商談一向に纏らず賣買共見送られ殊に目下全國中等學校優勝野球大會の話に人氣を奪はれ全く休商同様の閑散ぶりを呈してゐる。

鐵鋼界日誌

8月13日 於茅場町清水ビル、鐵業睦會、製鐵所11月、12月渡先物値段の件につき協議

8月15日 於大阪、製鐵所先物協議會(別項)

8月16日 於大阪、三軌會、重軌條及繼目板値段決定(前項)

販賣旬報 第138號 昭和5年9月3日

製鐵所販賣部

日本黒板共販組合正式調印成る 取り得べき唯一の不況對策として黒薄板共販組合の設立を約せるは既報の通りであるが、其の後萬事順調に運んで、去る8月14日大阪商工會議所に參集、形ばかりの提案討議の後、圓滿調裡に最後の決定を見、日本黒板共販組合と名命、正式調印を了した。

其の内容の大綱に於ては既に報導せる所と變りがないが、存續期限を1ケ年に延長して3ヶ月の間の暫定的施設より恒久的施設とした點に於て更に一段の強固さを加へたものと云へよう。賣出並に値段發表は次回の理事會に據ることとなつた。

黒薄板組合第1回賣出—9月積 8月21日日本黒板共販組合は第1回理事會を大阪平和俱樂部に開催、9月積各社賣出噸數並に値段を下の如く決定發表した。

1. 賣出噸數

	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
内地向	6,000 噸	2,350	1,000	450	200	10,000
輸出向	1,350	500	250	100	50	2,250
計	7,350	2,850	1,250	550	250	12,250

2. 建値

(イ) 内地向

3×6 判	268 枚 1 噸に付
川崎	153 圓
製鐵	150 (260枚145圓50錢を換算)
中山	151
徳山	151
日鋼	151

浪板原板	6.7.8 呎もの 1 噸に付
川崎	153 圓
其他	152

(重量は川崎ベースに依る)

(ロ) 輸出向

3×6 及浪原共	1 噸に付
製鐵及各社共	130 圓

以上孰れも手數料込買主演着値段にして大阪東京間同一値段とし契約後の揚地變更を許さず又輸出地は大阪に限るものとす。而して其の販賣先は舊來の慣習其他の事情を斟酌して大體次の通り定められた。

	製鐵所	川崎	徳山	日鋼	中山
内地向	安宅、岩井、三井、三菱	前同	岩井	安宅	中山悦治商店及四社
輸出向	安宅、岩井、三井、三菱	前同	前同	前同	前同

以上の内中山の内地向製品販賣先は中山悦治商店にて使用するものに限り同商店を指定し組合の監督を受けしめ、其以外の場合には他と同様安宅、岩井、三井、三菱の四社又は其中の何れかを指定して取扱はしめることとなつてゐる。

以上の賣出條件の下に何の位註文が集まるだらうか、組合成立後第一回の腕だめしてあり、且は諸種の組合形成の氣運に向ひつゝある今其の成否を卜する好參考資料として市場の注視を悉く此處に集めて、26日の締切日の翌々日即ち8月28日孟夏將に酷なる午前10時大阪俱樂部の一室に第二回理事會は開かれた。扱て其の成績は次の一表が物語るであらう。

	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	合計
内地向	3,435 噸	2,035	1,000	450	200	7,120
輸出向	1,700	—	250	100	50	2,100

内地向にして賣出に對し註文不足を生じたのは製鐵の幾分と川崎の約半數許りて他は全部賣切合計に於て1萬噸の賣出に對し約3,000噸の不足であるが、此を成功と見るか將又不成功と見るかは見る人の勝手である。只理事會は至極圓滿に自己の放縱なる權利を主張するもの一人もなく、専ら協調と組合的精神の旺盛下に不足分は來月の割當に繰越すことに異議なく可決、談笑の中に散會した。

川崎の註文少かつたのは、格差が餘りに大に過ぎたことにも依るであらうが、其一半は割當の比較的少い製鐵、中山等に註文を興へて川崎を空腹して置いたら周章て、値段を下げて賣出すだらうとの機敏なる間屋筋の露骨な戦法でないかとも噂された。9月の需要期に拘らず合計の少かつたのも組合に對する猜疑心が大部分で他の理由としては組合成立直前に製鐵其他が約2,000噸許りを臨時賣出した爲にも依るであらう。兎も角も、秋の需要期は控へてゐる。組合は至つて圓滿である。薄板界の將來は只安定の二字ある許りである。

東西市況—不安 大阪方面では製鐵所先物値段が限月短縮の爲め發表なき結果闇相場となり、來月の値段發表迄の約1ヶ月間に對しては製鐵所の販賣方針を掴み得ざる爲め市場に一抹の不安氣分を加へ先安氣分益々濃厚にて各間屋共恐怖心に馳られ買氣には殆んど手の出ざる有様となり例年の需要期を前に控へながら市場は極端に閑散、各品種共關東方面の安値に押され益々低落して居ると云はれてゐるが、東京市場も地方が稍荷動を見せる外は大阪方面より甚だしく日1日と減入つて行き特に大宗たる丸鋼落調が急な爲め全般の空氣の不安を醸して居ると見られて居る。

東京市況

丸鋼 6mmの品薄賤り變らざるも其他未だ落調止まず、ベース物はメーカー値段62圓の噂さへ出て、一層軟勢を助長し60圓間近しの聲もチラホラ聞こえたと傳へられ、太丸も之に押されて軟調を辿つて居ると云はれて居る。

角、平鋼 角の 19mm が稍手持薄を感じて小堅いのを除いては角、平共目星しい物はなく特に車軸用として相當消化された角の 13/4" 以上は近來トラックに浸食されたことや不況に原因して急劇な需要減退を見たこと云はれて居る。

型鋼 中小型山型は先旬 68 圓の噂に驚きながらも稍一服の姿であつたが其後復び軟調に轉じ 7 圓大臺に辛ふじて踏み止つて居るが不安の氣分は未だ去らず 67 圓成立の聲さへ聞く様になつた。大型物 130mm 150mm 品薄に氣は持つて居るが相場は冴えず、不等山も 3×4、3½×5 など益々下押し氣味で只 4×6 品掠れを傳へられて耽りである溝形は全般の氣配何となく底近きを感じしめるものあつて今の處是以上の安物は現はれない、工形は 5×8、5×10、4×9、6×12 及び 20" 以上の大型物は手持薄に部分高を續け、それに品によつては西路へ抜かれどうやら餘喘を保つて居る。

鋼、板 1.6×5×10 12 圓臺を保つて居る外は全般に品豊富で一層軟弱の商狀であるが 6.0 以上も大勢から見て此邊ではあるまいかと一部では觀測して居る向もある。

大阪市況

丸鋼 關東方面の暗雲低迷容易に去らず益々濃度を加へんとし比較的明るき關西方面に迄刻々擴大せんとして居る。大阪市場に錨を下して颶風の警報を眺めて居る船舶には最早此上防備の策もなく只雲行を眺め、間もなく 60 圓臺の實現を確實とさへ見る極端論者もある。

角、平鋼 伸鐵業者中工場閉鎖せるものあり賣行は鈍く自然減産は當然と見られて工場の閉鎖も減産も品薄も殆んど強氣材料とせらるべき問題は總て取り上げられない有様と云はれて居る。

型鋼 山型鋼は東の風弱く必要に應じて東京格安品を買入れて居る、等邊中形の如き大阪には殆んど在庫品はなくなつたが値段は安い。大形ものも荷動きなく鈍調。溝形鋼は依然として荷動きなく、工形鋼稍々荷動きありと雖も特筆すべき程のこともない。

鋼板 品薄にて先物入荷の見込薄さも軟調を改めず。厚板シーヤ業者の賣腰弱く引續き下落の一途を辿つて居る。

線材 7 月中旬末より相場は漸落歩調を辿りつゝあつた爲め買手側は目先の安値を氣構へて買氣をもらすもの少く又他方賣手側はかゝる市況の折柄として神経を尖らし「水鳥の羽音に逃ぐる平家」さながらの弱腰であつたが追々需要期接近と共に人氣は大分見直し相場依然伸力はないが氣の早いものはこれでもう底入れと見るものもあるやうである。

鉄力板 需要の減退甚だしく昨今の鉄力板相場は好いと見れば悪く、悪いと見れば下げ盡るといふ捻ぢくれた高下を示し易い、これがため問屋は痺れを切らし殘暑凌ぎの晝寝を極め込む向が多いやうである。

鐵鋼界日誌

- 8 月 14 日 日本黑板共販組合成立す
- 8 月 21 日 於大阪平和俱樂部、日本黑板共販組合第一回理事會、建値の公表、賣出數量。
- 8 月 28 日 於大阪俱樂部、日本黑板共販組合第二回理事會、割當數量の査定。
- 8 月 28 日 歐洲工形鋼及半製品シンヂケートは本日解散し、メーカーは相當安値に賣應ずる由三菱に入電あり。

フィンランドに於けるアルミニウム需給狀況 (昭和 5 年 6 月 10 日附在フィンランド郡司公使館一等通譯官報告)

フィンランド國に於てはアルミニウムの鑛石を産出せざるを以て外國より輸入し居る處、其輸入數量次表の如し。

種別	1928 年	價格	種別	1928 年	價格
	kg	芬マルク		kg	芬マルク
アルミニウム粉末	13,833	317,969	アルミニウム線狀	20,282	529,887
アルミニウム板	118,576	3,008,547	アルミニウム食器	12,615	664,719

主なる輸入國左の如し

種別	1928 年	價格	種別	1928 年	價格
	kg	芬マルク		kg	芬マルク
瑞典 アルミニウム板	12,572	298,317	獨逸 アルミニウム食器	8,942	440,160
丁抹 アルミニウム板	7,631	150,950	瑞西 同	2,349	138,064
獨逸 同	70,225	1,879,313	合衆國アルミニウム板	24,604	598,245
同 アルミニウム棒	14,877	383,296			

當國に於けるアルミニウム製造所はヘルシグホルス市に在る Finska Aluminium & Metallvaru-fabriken "Husgirad" A/B 商會僅に一箇所にして、輸入せる原料品より主として臺所用品を製造し居る處、同會社は獨逸人の技師により經營し居りて其製品の種類、年産出額、一般經營の状態等に關し種々調査したるも何等獲る處なし。

製品の種類は前記製造會社に於て製造し居る物は主として臺所用品、食器、牛乳入等なるが當國には國立飛行機製造所、造船所及兵器廠等を以て前記アルミニウム會社は是等製造所の注文に應じ居るものならんと想像せらるゝも其種類數量等は判明せず。

當國へは本邦よりアルミニウム製品を輸入し居らず。

當地に於ける主要輸入業者次の如し。

ストックマン商會

タリベルグ商會

ヘルシグ・ラケヌスアイネ商會

東京大阪市中鐵材相場

寸法	上旬		中旬		下旬	
	東京 8月 8日	大阪 8月 5日	東京 8月 15日	大阪 8月 19日	東京 8月 29日	大阪 8月 25日
	丸		鋼			
6mm	9.20	9.40	9.20	9.00	9.20	9.00
9	6.90	7.20	6.70	7.10	6.50	7.25
12	6.85	7.50		7.45		7.30
19	6.80	7.30	6.65	7.20	6.40	7.10
25						
50	7.20	7.70	7.10	7.50	6.90	7.50
65		7.80		7.70		7.88
	角		鋼			
9mm	8.10	7.60	8.00	7.40	7.80	7.50
12	7.90	7.80	7.80	7.70	7.70	7.80
15		7.70				
19	8.10	7.80	8.10	7.80	8.20	
38	8.00	8.00	7.90	7.90	7.90	8.00
	平		鋼			
1/4" x 1 1/2"	7.10	7.60	7.10	7.60	7.00	7.40
1/4" x 2"	7.30		7.30		7.20	
1/4" x 3"	7.60	7.80	7.40	7.70	7.40	7.60
3/8" x 4"	7.90	7.75	7.90		7.90	7.70
1/2" x 4"		7.80				7.60
	等邊山形鋼					
6x50x50mm	7.30	7.50	7.20	7.40	7.00	7.20
6x65x65						7.30
9x75x75		7.80	7.30	7.50		
9x130x130	8.00	8.30	7.90	8.20	8.00	8.00
12x130x130	7.90	8.50		8.30	8.10	
15x150x150	8.40	8.30	8.20	8.20	8.20	
	不等邊山形鋼					
3/8" x 2" x 3"	7.80	7.80	7.70	7.80	7.50	7.40
3/8" x 3" x 4"	7.30	7.70	7.30	7.70	7.10	
3/8" x 3 1/2" x 5"	7.40	7.60	7.40	7.50	7.30	
3/8" x 4" x 6"	7.80	8.00	7.70	8.00	7.50	8.20
1/2" x 4" x 6"	7.90	8.20	7.90	8.20	8.10	

寸法	上旬		中旬		下旬	
	東京 8月 8日	大阪 8月 5日	東京 8月 15日	大阪 8月 19日	東京 8月 29日	大阪 8月 25日
	溝		形鋼			
1/4" x 2" x 4"	7.30	7.50	7.20	7.40	7.00	7.30
0.312 x 2 1/2 x 5"		7.80		7.70	7.20	7.50
3/8" x 3" x 6"		7.70	7.30	7.60		
3/8" x 3" x 8"						7.40
3/8" x 3 1/2" x 10"						7.60
3/8" x 3 1/2" x 13"						
	工		形鋼			
1/4" x 3" x 6"	7.50	7.70	7.50	7.60	7.50	7.50
3/8" x 6" x 12"	8.50	8.80	8.50	8.50	8.50	8.80
0.28 x 4" x 8"	7.50	7.70	7.40	7.60	7.30	7.50
0.35 x 5" x 12"	8.50	9.00	8.50	9.00	8.50	8.80
0.36 x 5" x 10"	7.90	7.80	7.80	7.70	7.80	7.60
	鋼板					
1.6mm x 3' x 6'	10.20	10.70	10.20	10.40	9.90	10.00
1.6 x 4 x 8	9.50	10.40	9.40	10.20	9.35	
3.2 x 4 x 8	8.50	9.30	8.40	9.00	8.20	9.30
3.2 x 5 x 10		9.40		9.20		8.90
6.0 x 4 x 8	8.00	8.20	7.95	7.90	7.80	7.50
6.0 x 5 x 10						
9.0 x 4 x 8		8.10		7.80	7.70	7.70
9.0 x 5 x 10						
	薄鋼板 (13枚)					
米	57.0	58.5	57.0	58	57.0	57
英	56.0	57.5	56.0	57	56.0	56
八幡		57.0		55		55.5
	鋳力板					
米 { 170lbs	21.70	21.00	21.70	20.00	21.50	20.20
100	12.10	12.00	12.00	11.00	12.00	11.20
170	19.70	19.80	19.70	19.70	19.70	19.70
英 { 100	11.00	11.00	10.80	11.00	10.70	11.00
170	20.20	19.80	20.00	19.60	20.00	19.60
八幡 { 100	11.10	11.00	10.90	10.50	10.80	10.70
	線材					
No. 5	85.50	80.00	84.50	78.00	84.50	77.00

備考 單位 100 kg. につき (置場値段)、但し薄板は 1 板當り。線材は噸當り。鋳力板は 1 箱當り。

○昭和5年6月中國別輸入數量表(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本 年 計
條及竿鐵 (丸、角及平形にして 徑邊又は幅 15mm を 超えざるもの)	25	—	390	18	98	—	31	2	—	—	35	599	6,676
〃 (丸、角、平のもの其他)	269	3	1,548	58	90	47	28	89	—	—	138	2,294	18,740
〃 (テ-形及アングル形)	352	—	217	109	—	—	—	—	—	—	10	678	15,674
〃 (其 他)	26	16	2,168	144	—	—	—	347	—	—	11	2,712	32,271
レ - ル	246	—	169	—	—	—	—	245	—	—	—	660	7,629
フイツシユ・プレート	9	—	5	—	—	—	—	29	—	—	—	43	634
ワイヤ-ロツド(巻きたるものにして徑 5mm を超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,021
〃 (巻きたるもの其他)	—	—	4,329	247	54	104	95	2,291	—	—	—	7,120	43,666
鐵板 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mm を超えざる鐵素鐵板)	117	—	117	—	11	—	—	429	—	—	—	674	5,343
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mm を超えざるもの其他)	1,636	—	513	—	—	—	—	—	—	—	—	2,149	21,958
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 3mm を超えざるもの)	11	50	85	77	—	—	28	121	—	—	—	372	6,490
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	243	—	1,282	174	—	—	4	58	—	—	44	1,805	30,298
〃 (錫鍍したる)(葉鐵及葉鋼)	1,288	—	15	—	—	—	—	4,023	—	—	51	5,377	43,889
〃 (亞鉛鍍したるもの)	2	—	31	—	—	—	—	32	—	—	174	239	1,331
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	24	—	107	8	1	—	—	63	—	—	—	203	1,130
鐵 線	—	—	3	17	—	—	3	106	—	—	—	129	1,078
リ-ド・ワイヤ-	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4
鐵 リ ボ ン	103	22	142	20	—	—	16	4	—	—	—	307	2,875
帶 (籜 鐵)	440	35	886	3,337	—	—	—	16	5	—	19	4,738	23,427
パラゴ-ン・ワイヤ-	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	103
線 索	—	—	27	—	—	—	—	—	—	—	—	27	302
撚 合 線	16	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	18	22
パーブド・ツウイスト・ワイヤ-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 筒 及 管	254	—	838	—	—	—	2	501	—	—	2	1,597	19,212
特 殊 鋼(稅表一)	34	1	1	58	46	—	8	11	8	—	25	192	1,326
〃 (稅表二)	5	—	7	—	5	—	11	—	—	—	1	29	225
鐵道車輛用車輪及車軸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
鐵道車輛用ダイヤ-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
鐵道車輛用スプリング	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合 計	5,135	127	12,880	4,265	305	151	226	8,368	13	—	510	31,980	253,328
フエロ・マンガニ-ス	203	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	203	1,622
フエロシリコン及 シリコスピンゲルアイゼン	—	—	—	—	—	—	30	—	—	—	—	30	60
其他の不可鍛成鐵合金	53	—	9	—	—	—	11	2	—	—	—	75	354
シ-トバー(ティンバーを含む)	—	3,529	1,404	579	1,018	—	—	2,238	—	—	—	8,768	44,747
インゴツト、ブル-ム、ピレット及 スラツプ	4	—	602	—	24	—	—	—	—	—	—	630	5,412
ケツグスチ-ル及パンブスチ-ル	—	—	8	1	—	—	28	—	—	—	—	37	200
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	260	3,529	2,023	580	1,042	—	69	2,240	—	—	—	9,743	52,395
銑 鐵	366	—	1,000	—	—	—	—	—	8,072	18,045	3,536	31,019	236,384
屑 及 故 鐵	5,074	—	—	82	—	—	—	20,195	901	6,746	9,208	42,206	309,774

線材、薄板、鉄力板、輸入速報

(單位噸)

區分 品名	上旬				中旬				下旬			
	神戶	大阪	橫濱	計	神戶	大阪	橫濱	計	神戶	阪大	橫濱	計
	自7月29日 至8月8日	自7月29日 至8月8日	自7月28日 至8月7日	計	自8月9日 至8月18日	自8月9日 至8月18日	自8月8日 至8月17日	計	自8月19日 至8月28日	自8月18日 至8月27日	自8月18日 至8月27日	計
B.W.G.No.5	472	243	326	1,041	—	—	51	51	1,334	262	768	2,364
其他	662	227	51	940	38	348	102	488	796	341	127	1,264
7月計	1,134	470	377	1,981	38	348	153	639	2,130	603	895	3,628
薄板 0.7mm以下	38	153	129	320	503	568	55	1,126	11	149	29	189
7月計	—	—	—	—	—	—	—	—	49	302	213	564
鉄力板	581	172	937	1,690	—	—	573	573	183	365	395	943
7月計	—	—	—	—	—	—	—	—	802	885	1,905	3,592

昭和5年10、11月渡定期先物契約數量表

(單位噸)

丸鋼			角鋼			平鋼			等邊山形鋼		
寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計
6mm	—	513	12mm	5	77	3½"	2	378	40mm	50	448
8	—	310	16	5	134	19mm	28	947	45	—	177
9	10	20,059	19	13	123	22	20	832	50	5	512
11	—	10	22	9	49	25	15	866	65	5	250
12	—	687	25	5	117	32	19	724	75	5	245
50	15	281	28	3	38	38	—	508	90	—	25
55	—	254	32	7	209	44	—	250	100	—	81
60	—	83	38	15	305	50	—	831	130	10	1,379
65	3	208	44	7	148	55	—	15	150	15	2,507
70	2	88	50	—	114	65	—	788	200	—	185
75	6	152	65	7	78	75	13	677			
80	—	66	75	10	207	90	—	286			
90	2	135	90	—	88	100	3	202			
95	—	43	100	—	7						
100	—	86									
合計	38	22,975	合計	86	1,694	合計	100	7,301	合計	90	5,809

不等邊山形鋼			溝形鋼			工形鋼			鋼板		
寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計	寸法	噸數	累計
2½" × 2"	—	48	5" × 2½"	—	803	6" × 3"	—	20	1.6mm	289	4,724
5 × 4	—	46	6 × 2½"	—	439	6 × 5	—	40	2.3	14	1,063
6 × 3½	—	105	6 × 3	—	838	14 × 6	—	85	3.2	230	4,107
6 × 4	—	276	7 × 3	—	294	16 × 6	—	80	4.5	95	227
mm mm			7 × 3½	—	381	18 × 7	214	531	6	13	250
75 × 50	—	135	8 × 2½"	—	65	20 × 7½	—	325	8	—	61
75 × 65	—	160	8 × 3	—	180	24 × 7½	200	286	9	9	56
90 × 75	—	51	8 × 3½	—	266	mm mm			12	3	18
100 × 75	15	62	mm mm			100 × 75	15	25			
125 × 75	—	129	75 × 40	—	105	125 × 75	—	100			
125 × 90	6	174	100 × 50	—	418	150 × 75	—	30			
150 × 90	—	90	230 × 80	—	356	150 × 125	—	5			
150 × 100	353	685	230 × 90	—	435	200 × 100	—	55			
			250 × 90	15	388	200 × 150	—	113			
			300 × 90	—	282	230 × 100	—	105			
			380 × 100	—	174	250 × 125	—	452			
						300 × 150	261	1,067			
						350 × 150	—	50			
						400 × 150	—	149			

	定期	先物	合計	累計
條鋼	—	1,387	1,387	48,632
鋼板	—	653	653	10,806
合計	—	2,040	2,040	59,488
鋼板合計	11,003	48,485	59,488	

合計 368 1,961 合計 15 5,424 合計 690 3,518 合計 53 10,806

備考 累計は本年4月渡よりとす

昭和5年7月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量

(其一)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		(造船材料)		八角鋼		(造船材料)		15	44	鋼板(0.7mm以下)	
丸	鋼	6 1/2"	4	計	9	6" x 3"	2	16	37	6sheets	1
3/16"	62	75mm	1	其他の棒鋼		6 x 3 1/2	5	17	1	7	8
1/4"	8	計	584	計	13	7 x 3	16	18	1	8	3
3/8"	4	角	鋼	造船材計	8	7 x 3 1/2	41	20	4	9	3
1/2"	6	3/16"	2	計	21	8 x 3 1/2	47	1mm	1	10	2
5/8"	4	3/8"	10	棒鋼合計	1,457	9" x 3 1/2"	13	1.25	4	11	11
1 1/16"	2	1/2"	9	型鋼の部		10 x 3 1/2	52	0.062"	12	12	3
1 1/8"	6	5/8"	3	等邊山形鋼		11 x 3 1/2	53	計	272	13	515
1 1/4"	24	3/4"	3	1"	10	12 x 3 1/2	22	(造船材料)		B.W.G.No.	
1 1/2"	7	計	80	1 1/2"	14	mm mm		1"	22	23	4
1 3/8"	11	平	鋼	4	4	150 x 75	3	2	4	24	2
1 3/4"	9	3/8"	25	5	1	200 x 90	38	24	12	28	50
2"	12	1/2"	51	6	1	200 x 75	20	26	1	30	828
2 3/32"	15	5/8"	48	8	6	230 x 90	40	30	31	31	10
2 1/4"	5	3/4"	115	130mm	6	250 x 90	10	計	1,438	計	
2 1/2"	4	7/8"	70	180	3	計	368	電氣鐵板		0.014"	77
2 3/4"	3	1"	76	200	12	計	380	0.017	219	0.35mm	30
3"	12	1 1/4"	45	計	307	工形鋼		0.5	101	1.00	10
3 1/4"	13	1 1/2"	58	不等邊山形鋼		12" x 10"	68	計	437	計	
3 1/2"	4	1 3/4"	44	2 1/2"	1	15 x 5 1/2	38	縞鋼板		1/8"	22
3 3/4"	7	2"	54	3"	37	18 x 6	81	計	22	計	
4"	4	2 1/4"	6	3 1/2"	178	20 x 6 1/4	27	(造船材料)		1/4"	16
4 1/4"	11	2 1/2"	33	4"	21	計	214	溝形鋼		計	
4 1/2"	21	3"	14	5"	16	溝形鋼		52	2	計	
4 3/4"	18	3 1/4"	13	6"	27	6" x 3"	3	53	13	計	
5"	28	3 1/2"	3	8"	6	8 x 3	5	54	10	計	
5 1/8"	11	3 3/4"	5	計	307	計	8	55	15	計	
5 1/4"	19	4"	12	計	337	(造船材料)		56	8	計	
5 1/2"	33	4 1/2"	5	不等邊山形鋼		" "		57	18	計	
6"	36	5"	10	2 1/2" x 2"	16	3 1/2" x 3 1/2"	8	58	10	計	
6 1/4"	20	5 1/2"	1	5 x 3 1/2"	22	7 x 3	7	59	23	鉾力板	
6 1/2"	34	6"	8	計	38	8 x 3 1/2	1	60	15	100lbs	369
7"	24	6 1/4"	20	(造船材料)		10 x 3 1/2	5	61	31	170	187
8"	20	6 1/2"	5	3" x 2 1/2"	4	12 x 3 1/2	2	62	17	50sheets	2
8 3/4"	4	7"	20	5 x 3"	15	計	23	63	45	70	10
3mm	1	8"	4	5 x 3 1/2"	1	計	31	64	20	80	17
4"	1	8 3/4"	1	6 x 3	13	計	31	65	71	100	232
5"	1	10	11	7 x 3 1/2"	3	パイピングシート		66	106	mixed	53
6"	1	44	4	mm mm		計	1,863	67	88	oilsize	2,051
10	11	45	2	100 x 75	2	鋼板合計	2,907	68	217	其他	2,106
44	4	63	3	150 x 75	1	條鋼合計	4,364	69	10	計	5,027
45	2	70	6	計	44	鋼板の部		70	17	鋼板合計	8,865
63	3	80	4	球山形鋼		鋼板(0.7mm超)		71	2	軌條及附屬品の部	
70	6	95	5	6" x 3"	2	1/16"	124	72	10	軌	條
80	4	計	731	5 1/2 x 3"	10	3/16"	10	73	17	91lbs	134
95	5	六角鋼	10	計	12	1/4"	11	74	18	50k	425
155	5	造船材料		計	82	1"	3	75	13	其他	12
160	1	300mm	7	計	12	1 1/4"		76	57	計	571
		計	753	計	12	B.W.G.No.		77	22	繼目板	
		計	10	計	12	12	1	78	16	91lbs用	7
						12 1/2	1	79	16	50k	26
						13	7	80	32	計	33
						13 1/2	1	81	114	軌附合計	604
						14	10	82	5		
								83	17		
								84	18		
								85	13		
								86	57		
								87	22		
								88	16		
								89	1,653		
								90	1,925		
								計			
								計			

昭和5年7月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表

(其二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
線材の部		鋼管の部		2 1/4	2	10	21	(造船材料)		鋼板	46
線材		鋼管		2 1/2	249	11 3/4	278	4"	1	其他	12
5mm	256	1/4"	4	2 3/4	3	12	30	8	4	計	255
6	407	3/8	13	3	109	14	4	10	4	外論	26
B.W.G.No.		1/2	53	3 1/4	18	73mm	1	計	9	計	26
5	184	3/4	162	3 1/2	69	82.5	7	鋼管合計	2,549	其他鋼材	281
6	2,405	7/8	2	4	212	83	1	其他の鋼材の部		鋼材合計	19,995
3	21	1	237	6 1/2	80	Pipe fitting	11	特殊鋼		シートバー	2,696
2	22	1 1/4	34	7	19			丸鋼	147	ブルーム	2
1	37	1 1/2	37	7 1/2	75			角鋼	32	フェロマンガ	6
線材合計	3,332	1 3/4	2	8	123	計	2,540	平鋼	18	ニス其他	6
		2	95	8 5/8	551					ケツグ	11
										スチール	11

昭和5年6月民間棒鋼生産高表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸鋼		1 3/16"	4	2 1/4"	76	角鋼		1 3/8"	4	2	500
1/4"	81	7/8	3,071	2 1/2	20	1 1/2	3	2 1/4	3	2 1/4	2
5/16	183	1	2,786	2 5/8	24	1 5/8	3	2 1/2	20	2 1/2	306
3/8	681	1 1/8	1,099	2 3/4	5	2	5	3	7	3	86
7/16	254	1 1/4	1,001	3	75	3 1/2	7	計	854	3 1/2	72
1/2	3,393	1 3/8	188	淺野小倉	973	平鋼		4		4	4
3/4	1	1 1/2	676	3mm以下	525	計		計		計	1,023
5/8	3,153	1 5/8	253	其他		1 3/16"	2	1 1/4"	8		
1 1/8	6	1 3/4	304	計	21,869	1 1/2"	2	1 1/2"	4		
1 1/4	2,904	1 7/8	12			1 3/4"	17	1 3/4"	41	總計	23,746
		2	123				6				
							16				

月定期先物積殘數量高

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	合計	備考
等邊山形鋼		不等邊山形鋼		溝形鋼		工形鋼			
mm mm		mm mm		6" x 3"	—	mm mm			
130 x 130	—	75 x 50	—	7 x 3 1/2	—	125 x 75	—		
		75 x 65	—	8 x 3	—	150 x 75	—		
		90 x 75	—			200 x 150	—		
		100 x 75	—			230 x 100	—		
		125 x 75	—			250 x 125	—		
						350 x 150	—		
						24' x 7 1/2"	—		
計	—	計	—	計	—	計	—		

○昭和5年月7中棒鋼寸法別揚地別引渡高表 (單位噸)

區分 寸法	丸鋼				合計
	民間向普通鋼		官廳向及規格品並特殊鋼		
	阪神揚	京濱揚	其他	計	
5.5mm	—	—	5	5	6
6	—	15	7	22	22
6.5	—	—	1	1	1
8	—	5	5	10	11
8.5	—	—	5	5	7
9	1,524	2,210	608	4,342	4,362
9.5	—	—	—	—	1
10.5	—	—	—	—	2
11	—	—	9	9	9
12	—	—	103	103	105
13	—	—	—	—	4
14	—	—	—	—	14
15	—	—	—	—	8
16	—	—	—	—	43
17	—	—	—	—	1
18	—	—	—	—	33
19	—	—	—	—	43
21	—	—	—	—	55
22	—	—	—	—	20
24	—	—	—	—	16
25	—	—	—	—	12
28	—	—	—	—	28
30	—	—	—	—	17
32	—	—	—	—	10
36	—	—	—	—	5
38	—	—	—	—	22
40	—	—	—	—	9
42	—	—	—	—	2
44	—	—	—	—	2
48	—	—	—	—	3
50	213	5	45	263	281
55	156	—	—	156	178
60	60	—	—	60	62
65	98	—	46	144	159
70	48	—	—	48	49
75	75	5	6	86	136
80	31	—	—	31	38
85	—	—	—	—	1
90	74	—	2	76	96
95	50	—	—	50	50
100	18	20	—	38	58
110	14	5	—	19	22
115	—	31	—	31	46
120	—	5	—	5	19
130	16	29	—	45	54

區分 寸法	丸鋼				合計
	民間向普通鋼		官廳向及規格品並特殊鋼		
	阪神揚	京濱揚	其他	計	
140	—	45	—	45	45
150	—	43	—	43	109
160	—	4	—	4	4
170	—	5	—	5	8
180	12	45	—	57	58
200	27	49	—	76	81
丸鋼計	2,419	2,521	842	5,782	6,427
角鋼					
12mm	—	—	29	29	29
16	—	—	131	131	131
19	10	10	54	74	74
22	6	5	17	28	28
25	5	10	121	136	137
28	5	12	—	17	17
32	20	5	10	35	35
38	72	25	5	102	103
44	22	5	—	27	34
50	48	11	—	59	66
60	—	—	—	—	6
65	20	24	—	44	45
70	—	—	—	—	1
75	135	1	—	136	158
80	—	—	—	—	6
90	17	13	—	30	40
100	113	—	—	113	255
115	—	27	—	27	37
120	—	—	—	—	1
130	—	15	—	15	17
140	—	—	—	—	30
150	—	—	—	—	—
角鋼計	437	163	367	1,003	1,250
平鋼					
19mm	175	205	55	433	433
22	174	200	27	401	404
25	84	122	50	256	260
32	65	111	46	222	224
33	34	57	45	136	140
44	36	8	20	64	72
50	188	150	31	372	377
65	79	106	33	218	265
55	—	—	5	5	5
75	2	132	—	134	148
90	38	20	—	58	80
100	5	42	—	47	63
125	—	3	—	3	3
3 3/8"	10	20	—	30	30
平鋼計	888	1,176	315	2,379	2,504
總計	3,780	3,860	1,524	9,164	10,181

昭和5年7月當所製品揚地別發送高 (單位噸)

品名\區分	揚地別										合計			
	阪神地方	京濱地方	當所渡	伊勢灣東海地方	山陰北陸地方	內海沿岸地方	沿四國地方	奧羽地方	關門九州地方	北海道樺太地方		滿關東州地方		
鋼材	12,070	10,839	66	82	235	183	492	1,215	5,424	3,380	—	909	—	34,895
鋼片及鋼塊	21,482	10,945	5,369	5,333	—	—	296	875	432	4,070	—	242	—	49,044
副製品	118	670	1,702	—	—	1,169	—	3,913	—	—	—	—	—	7,572
合計	33,707	22,890	19,784	5,437	235	1,928	788	9,401	5,856	7,450	—	1,151	—	108,647

昭和5年7月中當所品種寸法別生産高

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		65	32	230×90	137	4.5	682	7/16	12	※イプレート	113		
丸鋼		70	2	250×90	290	5	27	1/2	1	計	249		
6mm		100	63	6"×2 1/2"	334	6	593	9/16	2	軌附合計 18,045			
9		計	2,380	6×3	100	7	69	3/4	3	線材の部			
10		平鋼		7×3	61	8	95	1	6	線材			
11		22mm	100	8×3 1/2	182	9	264	計	9,305	5.5mm 4,651			
12		25	209	計	1,729	10	140	9 107					
13		32	278	工形鋼		11	17	計 4,758					
15		38	237	mm mm		12	291	製釘材					
16		44	98	100×75	175	13	11	5.5mm 1,440					
18		50	158	125×75	199	14	39	計 1,440					
19		55	152	230×100	29	15	8	線材合計 6,198					
20		60	1	3"×3"	3	16	207	其他鋼材ノ部					
21		65	131	5×4 1/2	139	17	7	二級鋼板 3					
22		75	282	6×4 1/2	136	18	7	疵物鋼板 10					
24		90	167	18×7	338	19	23	鍛成品 79					
25		100	311	20×7 1/2	178	20	12	特殊鋼製品 11					
26		3 3/8"	1	24×7 1/2	468	21	6	工具鋼 5					
28		計	2,185	計	1,665	22	26	車軸 200					
30		火床用平鋼		Z形鋼		22"	26	鋼線 26					
32		mm mm mm		70×50×40	1	25	1	座輪 265					
36		5×13×90	3	100×70×60	28	25"	6	ドームリング 5					
38		4×10×70	13	150×75×65	12	26	6	ボールト 63					
40		計	16	計	41	27	3	リベット 39					
44		棒鋼計	14,020	T形鋼		28	11	ナット 22					
48		型の鋼部		0,312"×2"×2"	11	28"	26	不良鋼板 38					
50		等邊山形鋼		計	11	30	90	其他鋼材合計 777					
55		25mm	13	型鋼計 10,563		31	5	鋼材總計 77,908					
60		30	2	鋼板の部		32	55	銹鐵					
65		35	1	0.7mm以下鋼板		33	4	本所 46,938					
70		40	190	B.W.G.No.		34	35	戸畑 18,060					
75		45	212	33 27		35	28	洞岡 8,975					
80		50	689	31 28		36	40	計 73,973					
85		60	7	30 1,201		37	6	合金鐵					
90		65	341	29 12		38	38	フエロマンガ 54					
100		70	12	23 59		39	78	フエロシリコン 25					
110		75	255	13 sheets 897		40	68	計 79					
120		80	380	0.7mm 1		41	33	鋼塊					
125		85	6	0.7mm 超鋼板		42	26	普通鋼塊 103,918					
130		90	340	0.8mm 23		43	64	坩堝鋼塊 22					
140		95	2,197	1 30		44	90	電爐鋼塊 1,224					
150		100	633	1.2 18		45	34	鑄物鋼塊 1,868					
160		105	5,272	1.5 32		46	15	計 107,032					
170		110	3	1.6 1,969		47	21	鋼片					
180		115	19	1.85 49		48	68	内部向 78,369					
180		120	293	2 34		49	2	外部向 4,306					
200		125	183	2.2 1		50	68	計 82,675					
計		計	9,439	2.3 663		51	4	シートバー					
角鋼				2.5 48		52	13	内部向 9,146					
12mm		50×35	3	2.6 51		53	11	外部向 2,448					
16		65×50	320	2.9 1		54	2	計 11,594					
19		75×50	265	3 21		55	4	短尺及屑鋼					
22		75×65	315	3.2 2,311		56	6	短尺 1,149					
25		90×60	24	3.5 18		57	21	尺鋼 1,418					
28		90×75	230	4 53		58	28	計 2,567					
30		100×75	441										
32		125×75	92										
36		125×90	136										
38		5"×4"	19										
44		計	1,845										
50		溝形鋼											
		mm mm											
		75×40	196										
		330×80	29										

昭和5年7月契約高

(單位噸)

品種\區分	官廳小計		民間小計		7月中合計			本年度累計			
	噸數	金額	噸數	金額	噸數	金額	噸當	噸數	金額	噸當	
大中小鋼	條	428	44,365	5,049	416,698	5,477	461,063	84.18	14,397	1,225,302	85.11
	條	2,523	230,361	1,008	77,149	3,531	307,510	87.09	7,994	577,568	94.77
	條	103	12,418	626	46,734	729	59,152	81.14	18,541	1,391,582	75.05
	板	945	29,789	8,644	707,277	9,589	737,066	76.87	36,376	3,211,785	88.29
重軌條及附屬品	80,363	7,393,452	235	21,951	80,598	7,415,403	92.00	95,036	8,811,175	92.71	
輕軌條及附屬品	707	74,093	31	2,201	738	76,294	103.38	6,276	610,490	97.23	
線	—	—	8,190	627,875	8,190	627,875	76.66	27,777	2,214,429	79.72	
黑板、硅素鋼板、 鋇力板	32	8,290	3,421	765,277	3,453	773,567	224.03	12,053	2,656,088	200.37	
車軸外輪鍛成品	2,642	765,934	24	7,103	2,666	773,037	289.96	3,564	926,882	260.07	
工具鋼、特殊鋼	—	—	5	2,774	5	2,774	554.80	56	21,113	370.02	
其他鋼材	5	1,124	—	50	5	1,174	232.80	51	12,901	252.96	
鋼材小計	87,748	8,559,826	27,233	2,675,089	114,981	11,234,915	97.71	222,124	21,839,315	98.32	
鋼片、鋼塊、 シート	147	12,931	10,118	602,432	10,265	615,363	59.95	24,987	1,550,240	62.04	
以上計	87,895	8,572,757	37,351	3,277,521	125,246	11,850,278	94.62	247,111	23,389,555	94.65	
短尺及屑鋼	286	16,041	3,780	232,293	4,066	248,694	61.16	15,181	921,611	60.71	
以上計	88,181	8,589,158	41,131	3,509,814	129,312	12,098,972	93.56	262,292	24,311,166	92.69	
副製品		28,615		578,668		607,283			1,733,603		

昭和5年7月中3港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品種\區分	神戸	大阪	横濱	7月計	前月計	本年累計	前年同期累計
丸角鋼	356	57	178	591	718	14,819	51,318
平鋼	17	46	18	81	101	1,697	4,020
等山形鋼	211	139	373	753	485	7,312	10,358
等山形鋼	104	—	234	338	57	6,870	13,010
不溝工	16	—	66	82	97	4,295	2,474
鋼板(0.7mm超)	10	—	21	31	301	3,928	5,568
力條材	27	188	—	215	96	7,789	12,822
鋼板(0.7mm以下)	654	345	1,269	2,268	859	32,070	23,043
鋇軌線	712	—	392	1,104	2,509	24,643	50,808
力條材	1,867	704	2,458	5,029	2,947	36,558	37,005
力條材	—	—	571	571	288	7,220	20,415
力條材	2,111	875	346	3,332	5,967	41,943	95,969
シート	740	—	1,123	1,863	1,847	19,337	15,827
鋼管	466	351	1,730	2,547	1,588	17,489	34,052
其他	199	6	999	1,204	1,220	15,111	19,725
計	7,520	2,711	9,778	20,009	19,080	241,081	396,414
硫石ナク	10,431	—	—	—	—	—	—
炭サリ	4	3	—	—	—	—	—
フレン	—	14	—	—	—	—	—
アンソール	31	—	—	—	—	—	—

調査未了